

2011年 奥出雲町10大ニュース

皆様にとって今年はどういう一年だったでしょうか？
 今年は、三月の東日本大震災発生により辛く悲しいニュースが多い年でしたが、奥出雲町では、みんなに元気を与える明るい話題もありました。
 二〇一二年が明るく素晴らしい年となるよう願いながら、今年一年を振り返ります。

東日本大震災 奥出雲町からも支援活動



▲奥出雲町からの給水支援車

震災被災地へ向けて奥出雲町から給水車による給水支援、ペットボトル飲料水二万四千本をはじめとした物資支援、

ホッケー 高校生・中学生が大活躍

横田高校男子ホッケー部が、八月に開催された全国高校総体ホッケー競技(右)手愚において、全試合無失点で、三年保健師の現地派遣など、被災地支援を行いました。
 十月四日には、給水支援活動先の宮城県色麻町から伊藤拓哉町長が来町し、井上町長に感謝状が贈られました。
 また、町内では様々なチャリティイベントが開催されました。



▲横田高校男子ホッケー部



▲横田中男子ホッケー部



▲11人制島根県男子チーム

ぶり五度目の優勝を果たしました。

また、八月に京都府で開催された全日本中学生ホッケー選手権大会で、横田中学校男子ホッケー部が第三位を獲得。十一月に福井県で開催された全日本中学生都道府県対抗十人制ホッケー選手権大会では、仁多・横田両中学校男子ホッケー部で編成する島根県男子チームが準優勝を勝ち取りました。

尾原ダム周辺整備

二つの中核施設が完成

尾原ダム周辺施設として島根県で整備が進められていた自転車競技施設(中国地方二箇所目の公認コース)が五月に、ダム湖を利用したボート競技施設(常設公認B級コース)が十月に完成しました。



▲新コースで開催された中国地域自転車道路競走大会



▲ボート競技施設

勝田康則副町長が就任

任期満了による和泉一朗氏の副町長退任に伴い、六月定例議会の選任同意を得て、七月一日付で勝田康則副町長が就任しました。



横田多里線 街路事業が完成



横田地区の中心部を通る主要地方道横田多里線の街路事業等が、平成五年から十九年の歳月をかけた完成しました。
 五月には完成式が行われ、新しい街並みを歩き完成を祝いました。

将棋タイトル「倉敷藤花」戦 奥出雲で第一局開催



▲対局の様子

女流棋士タイトル「倉敷藤花」の第十九期戦第一局が十一月六日、亀高温泉「玉峰山荘」で開催されました。東京都と岡山県倉敷市以外で開催されるのは、タイトル史上初めてです。
 対局は、里見香奈女流三冠が、百十三手で清水市代女流六段を下し、先勝しました。

「たたら」の価値を再認識

二月に「たたらシンポジウム2011」が松江市のくまびきメッセで、十一月に「たたら公開講座」が出雲市の古代出雲歴史博物館で開催され、事例発表やパネルディスカッションを通



▲たたらシンポジウムの様子

して、たたらへの価値と重要性について認識を新たにしました。

八月に東京藝術大学の教授や大学院生を招いた「東京藝術大学サマースクール」が開催されました。
 小・中・高校の吹奏楽部や音楽団体への実技指導を通じて、互いに交流を深めたほか、最終日には合同で「ふれあいコンサート」を開催しました。

文化の薫り高い町づくり 東京藝術大学サマースクール・イン・奥出雲



▲ふれあいコンサートの様子

保育・教育施設の整備が進む

亀高小学校校舎と屋内運動場、馬木小学校屋内運動場が二月に竣工しました。
 また、五月には横田高校新校舎の完成と創立九十周年を祝う式典が開催されま

した。
 そのほか、町では、仁多中学校の大規模改修事業や八川、横田幼稚園の建設を進めています。



▲亀高小学校



▲馬木小学校屋内運動場



▲完成間近の八川幼稚園



▲横田幼稚園 (完成イメージ)

究極のご飯の祭典 米ーグランプリ開催

米や米粉を使った料理とスイーツで、味やアイデアを競う「米ーグランプリ」が十月十五日から二日間、地元有志で組織する実行委員会が主催して開催され、一万人を超える来場者が米の魅力を楽しみました。
 イベントの様子は、多くのメディアに取り上げられ、全



▲賑わう会場

国に奥出雲町と米の魅力を発信しました。